

世界の最新鉱山技術がここに集結 日本の近代化を支えた産業遺産群



但馬の未来をデザインする

TAJIMA Design

近代化産業遺産エリア

鉱石の道 ～明延・神子畑・生野～

養父市
朝来市

日本の近代化は“ここ”から始まった。



東洋一の規模を誇った神子畑選鉱場跡。巨大なシックナーや里帰りした一円電車、フランス人技師・ムーセの旧居などが残っている。



明治42年に錫鉱が発見され、「日本一の錫鉱山」として栄えた明延鉱山。「探検坑道」として一部が公開されており、当時のままの姿を見学できる。

「鉱石の道」命名10周年へ

古くから全国有数の鉱山エリアとして発展し、地域固有の歴史として様々な伝統や文化が育まれてきた但馬。

中でも養父市、朝来市にまたがるあけのべ・みこばた・いくの明延・神子畑・生野の三鉱山を中心としたエリアは、日本の歴史に深く関わりながら発展した有数の鉱山であり、特に明治以降は西洋の鉱山技術を取り入れた模範鉱山の第1号として、日本の近代化を牽引してきた。

これら3つの鉱山を結ぶ輸送ルートは平成16年に「鉱石の道」と命名され、平成19年には経済産業省が選定する近代化産業遺産に認定され、「鉱石の道推進協議会」が設立された。平成25年に中瀬エリアも加わり、日本の鉱山史を丸ごと体感できる貴重な場所として保存するとともに、地域活性化に向けた効果的な活用など、様々な取組みを進めている。

「夢但馬2014」が開催される平成26年は、「鉱石の道」にとっても命



朝来市特産! 冬のプレミアムお野菜

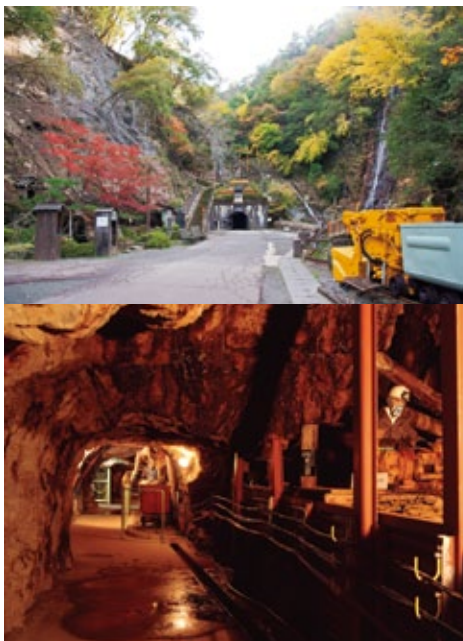
岩津ねぎ

朝来市特産品の岩津(いわつ)ねぎ。青葉から白根までやわらかく、甘味が絶品。鍋物、天ぷら、焼きねぎなど、どんな料理にも使える万能ねぎです。



主な販売場所

道の駅 あさご 079-678-0808
道の駅 フレッシュあさご 079-670-4120
道の駅 但馬のまほろば 079-676-5121
※その他市内直売所、主なスーパーで購入可能



日本初の官営鉱山として、近代化を支えた生野鉱山。閉山後は観光坑道として一般公開されている他、鉱山の歴史や貴重な鉱石標本などを展示している。

名10周年を迎える節目となる年。他

にも明延探検坑道開設25年、中瀬鉱山閉山45年、神子畑選鉱場開設95年、史跡生野銀山開設40年と、メモリアル・イヤーにあたることから、

鉱石の道推進協議会では9～10月の約2ヶ月間を「鉱石の道フェア」と題し、各エリアのイベントが連携するプロジェクトを計画している。

「平成25年、鉱石の道エリア全体の概略をまとめたガイドブックを作成しました。これまで個々の点だったものが面になったことで、住民の方も改めて自分たちの地域のよさを見直すきっかけとなりました。しかし、内外に誇れる地域資源の素晴らしさがまだまだ知られていないのが現状です。来年のフェアを全国にアピールする契機にしたい」とは、事務局を務める但馬県

民局地域振興課の森垣雅則課長。

では「鉱石の道」の魅力はどこにあるのか。そこには、地域活性化の起爆剤となりうる可能性が大いに秘められていた。

但馬は宝の山だった

「但馬は全国的に見ても、鉱山王国といえる」と話すのは、養父市教育委員会の谷本進さん。

但馬地域には137以上の金・銀・銅などの鉱山が確認されており、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康といった、時の権力者の「御金蔵」として支配された。

「信長は安土城を築く7年も前に生野を制圧しました。天下取りを目指す信長にとって、生野鉱山は戦略的に重要な場所だったのです。また、秀吉が全国の銀山から納めさせた銀山運上（営業税）の記録では、但馬国が全国第1位、全国の83%を占めています。但馬は天下人にとって宝物だったのです」と、谷本さんは語る。

江戸時代には佐渡金山（新潟県）、石見銀山（島根県）とともに、江戸幕府の財政を支えた生野銀山。幕府は生野、佐渡、石見に奉行所を置いて、特別な鉱山として開発に力を入れた。

また、当時、金で作った小判は主に

東日本で使用され、銀で作った丁銀は西日本で使われていた。これは東の佐渡金山と西の生野銀山、石見銀山の影響があるようだ。江戸時代前半、日本で産出された銀の量は、世界の3分の1を占めたともいわれている。

永禄4年（1568）、ポルトガル人のドラードがインドで作った「日本図」にも、但馬国の位置には「銀金山群王国」と書かれ、ヨーロッパから見ても、但馬は金銀にあふれた黄金の国だったのだ。

さらに明治元年（1868）、日本が近代化の道を歩むことになると、明治政府は生野鉱山を日本初の官営鉱山とした。明治5年には神子畑、明延、中瀬の鉱山も官営となり、西洋の進んだ鉱山技術を導入するためフランス人技師を招聘し、近代化の模範鉱山として再開発された。

「三鉱山には日本初、日本一といえるものがたくさんあります。生野鉱山では機械式製錬技術や火薬による本格的な発破法（はつぱくほう）の他、動力用水車のための鉱業用送水路やダム建設、鉱山鉄道の敷設、日本最初の鉱山学校の設立など、数え上げたらきりがありません。明延は全国で90%の産出量を誇った日本一の錫鉱山であり、神

江戸時代と近代の坑道が同時に体験できる

史跡 生野銀山 UNDERGROUND IKUNO GINZAN

- ◆大人900円・中高生600円・小学生400円・小学生未満無料
- ◆4～11月：9～17時30分（※冬季は変動あり）
- ◆12～2月のみ火曜休（祝日は翌日）、年末年始（12/29～1/2）



史跡生野銀山

検索

開坑1200年

（問）株式会社シルバー生野 兵庫県朝来市生野町小野33-5 TEL.079-679-2010

雪が育てる・・・

体力！
創造力！

家族力!!!

おおや30 スキー場

〒667-0323 兵庫県養父市大屋町若杉 99-2
TEL:079-669-1576 HP:www.ooya-ski.jp





昭和11年頃に建設された明延鉱山「北星社宅」は、現在も4棟が残っており、景観は他の地域でも残っていない貴重なものとされている。現在、保存・活用に向けて検討されている。



金山として栄えた現在の中瀬鉱山。地区では産業遺産を活用した村おこしに取り組んでいる。

子畑の選鉱場は東洋一の規模を誇りました。近代化日本の鉱山開発はまさに「ここ」から始まったのです」と、谷本さんは続けた。

こうした近代鉱山開発の歴史とともに、三鉱山を結ぶ「3つの道」が作られた。第1の道が、姫路の飾磨港から生野へ石炭などの鉱山用資材を運んだ「生野鉱山寮馬車道」（現在の銀の馬車道）。

第2の道は神子畑から生野へ「銀鉱石」を運んだ鑄鉄橋のある馬車の鉄道。神子畑鑄鉄橋（国指定重要文化財）や羽瀨鑄鉄橋（兵庫県指定文化財）は、明治政府が明治18年に

完成させたものだ。

そして、第3の道が明延から神子畑に「錫鉱石」を運んだ明神電車（円電車）。明延の鉱石は、神子畑選鉱場で錫・銅・亜鉛などの鉱物に分離された。明治政府が全力で開発した鉱山が、但馬の鉱山であつた。その証拠がこの「3つの道」にある。

これらの道は、明延から神子畑へ、神子畑から生野へと、鉱石や人、文化が運ばれた道であり、日本近代化の歴史や今に残る鉱山遺産群をつなぐ道である。

エリア内には、鉱山遺跡や古い町並み、鉱山独特の文化などが色濃く残り、日本で唯一、中世から近現代の鉱山の歴史、技術、生活史の変遷をたどることができる「歴史文化ミュージアム」といえる地域。まさに未来へ伝えるべき、地域の「誇り」であり、「宝」といえる。

産業遺産の活用に向けて

日本の近代化を支えた鉱山遺産や文化、歴史が残る「鉱石の道」。新たな魅力発信のプロジェクトとして、今秋に予定されている「鉱石の道フェア」では、神子畑選鉱場跡の景観を生かしたイベントや特別ツアーを企画検討するなど、各地域の活動も活発

になってきている。

神子畑地区では、地元住民で作る「神子畑鉱石の道推進協議会」が観光ガイドを開始。これで3つの鉱山全てでガイド案内を受けることができるようになり、受け入れ体制は強化された。

明延ではかつて鉱山社員が使っていた昭和10年代の木造長屋「北星社宅」を、ボランティアの協力を得て修復・保存。住宅内に明延鉱山当時の日用品などを置き、鉱山最盛期を再現した「生活ミュージアム」として公開することが検討されている。

さらに、金山町として栄えた養父市中瀬地区では、金山跡を「文化遺産」と位置づけ、高齢化が進む集落の地域おこしにつなげようと、「中瀬金山会」が結成された。

生野では、中播磨地域の人情喜劇「銀の馬車道」劇団による生野を舞台とした新作公演が予定されるなど、地域間交流も深まりつつある。

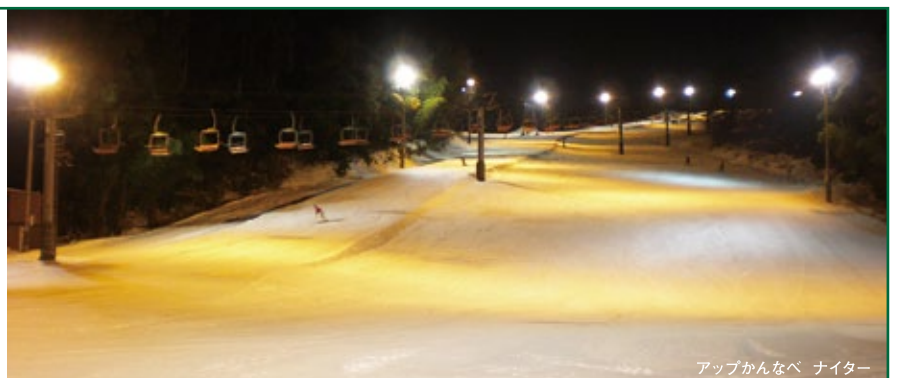
鉱石の道エリアが一体となった初のフェア開催に向けて、さらなる一歩を踏み出した「鉱石の道」プロジェクト。そこには元気な町づくりに取り組む多くの人々の夢と姿があつた。

協力… 鉱石の道推進協議会

<http://koseki-michi.com/>

～共に生きる
この街を元気に～

 但馬信用金庫



アップかんなべ ナイター

元 気 入 ネット ワ ー ク

【Genki-Bito】



13時30分からは
ボランティアガイドと巡る
ツアーも開催しています！
ぜひご参加ください



むき出しの岩壁やレール跡、
削岩機、重機なども当時のまま！！
仕事のきびしさが分かる
本物の鉱山現場が体感できます。



明延鉱山ガイドクラブ
会長の藤尾さん

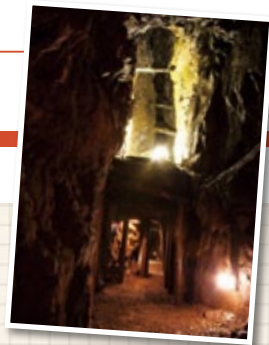
●明延鉱山探検坑道ガイド

「1番の見所は、高さ約20メートルもある巨大な鉱脈跡。上部に開いた鉱脈跡を見学できるのは、閉山時そのままの姿を残す明延ならでは」と話す、明延鉱山ガイドクラブの藤尾会長。今にも探掘が始まるかのような臨場感を味わえることが魅力と語る。ガイドは男女6人が在籍。生の対話を大切にしようと、基本的な解説以外は個々のガイドの個性を生かし、笑ひも交えた楽しいガイドを心がけている。4～11月の月1回、一円電車の定期運行会も開催。

【所】兵庫県養父市大屋町明延1184 【料】大人・高校生630円、小・中学生210円（※別途、1回につき指導員案内料として2,100円が必要）

【問】養父市立あけのべ自然学校 079-668-0258

（平日8時30分～17時15分受付）※要事前予約（3日前まで）



一円電車の定期運行

●史跡生野銀山 ボランティアガイド

昭和49年の観光坑道オープンに際して、生野鉱山のOBによって始まった史跡生野銀山のガイド案内。現在、8名のガイドさんが日替わりで常駐し、軽快な語り口で案内をしている。「江戸時代の手掘り跡を始め、近代の坑道を同時に見られることが魅力」と、ガイドの大城さん。歴代OBから伝え聞いた話なども交えながら、専門的にならないよう、興味を引く言葉を選んでガイドをしているのだ。「ガイドがあると、ないでは楽しみ方が全く変わるのが観光坑道。ぜひ日本有数の鉱山を肌で体感してほしい」と話す。

【所】兵庫県朝来市生野町小野33-5(史跡生野銀山)

【料】ガイド案内は無料（※別途入場料）

【問】(株)シルバー生野 079-679-2010

ガイドの大城さん



大阪出格子が特徴的な掛屋の邸宅



トロッコの軌道跡

●口銀谷散策ガイド

地元のガイドが生野の口銀谷地区を案内。1～2時間半の5つのコースがあり、江戸時代の町家から明治(洋館)、大正、昭和の家屋まで、各時代の蓄積によって作られた口銀谷特有の町並みを見学できる。ガイドの中井さんは「一番のおすすめは江戸時代の地役人の屋敷。また、掛屋だった邸宅の玄関前にある大阪出格子と飾り石は珍しいものです。口銀谷には質素だけど、時代がかった趣のある建物が点在しています。ぜひ命の洗濯をかねて、のんびりと散策してほしい」と話す。

【所】兵庫県朝来市生野町口銀谷 【料】無料（※マップが必要な場合は1人100円）・定員20人

【問】生野まちづくり工房井筒屋 079-679-4448

※原則、1週間前までに電話予約にて事前申込



ガイドの中井さん

●NPO法人J-heritage

ヘリテージツーリズムという旅を通じて、産業遺産の価値・魅力を発信する活動を行っているNPO法人J-heritage(ヘリテージ)。代表の前畑さんは「産業遺産は先人から預かった大切なバトンのようなもの。多くの人に知ってもらうため団体を立ち上げた」と語る。鉱山の道推進協議会のメンバーとして、3鉱山や地域外の人を結びつけるパイプ役を担い、人と人の交流で生まれるパワーを地域活性化に繋げている。「鉱山の道」の魅力は「人の暖かさ」と語り、外部からの旅人目線で貢献できればと話す。

◎WEBサイト: <http://j-heritage.org>

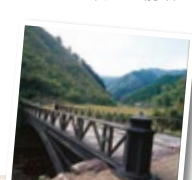
「鉱山の道 旅ブログ」も発信中！
まだまだ魅力的な
「人・事・場」が隠れているので、
ぜひ地域の魅力をお教えてください！



代表の前畑さん



異人館だったムーセ旧居

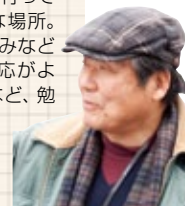


神子畑鉄橋

●神子畑鉱山 観光ガイド

神子畑鉱山へ訪れる人が増えるにあたり、「せっかく来られたなら、見るだけでなく、すごさを知って帰ってもらいたい」と、4月からガイドを開始。地元住民で結成された「神子畑 鉱山の道推進協議会」のメンバーが、バスツアーの団体客を中心にガイドを行っている。「神子畑は鉱山施設なので、とりわけガイドが必要な場所。なぜ急斜面に選鉱場が建てられたのか、シックナーの仕組みなどの専門的な説明をしないと、より深く理解してもらえて、反応がよい」と話す、会長の山内さん。施設関係者から話を聞くなど、勉強会も開いている。4月には恒例の「桜まつり」も開催予定。

【所】兵庫県朝来市佐養(さのう) 神子畑地区 【料】バス1台(15名程度)につき2,000円 【問】平日: 079-677-0518(山内会長) / 土日祝: 079-677-1717(ムーセ旧居) ※事前予約



会長の山内さん

「鉱山の道」を盛り上げる元気人たち



古民家
(豊岡市竹野町)

愛する「ふるさと但馬」を
盛り上げています！

Facebook
「但馬夢テーブル委員会」
いいね👍してね！



明延鉱山見学
(養父市大屋町)

気楽な但馬一円ルート観光
知られていない
パワースポットを紹介します